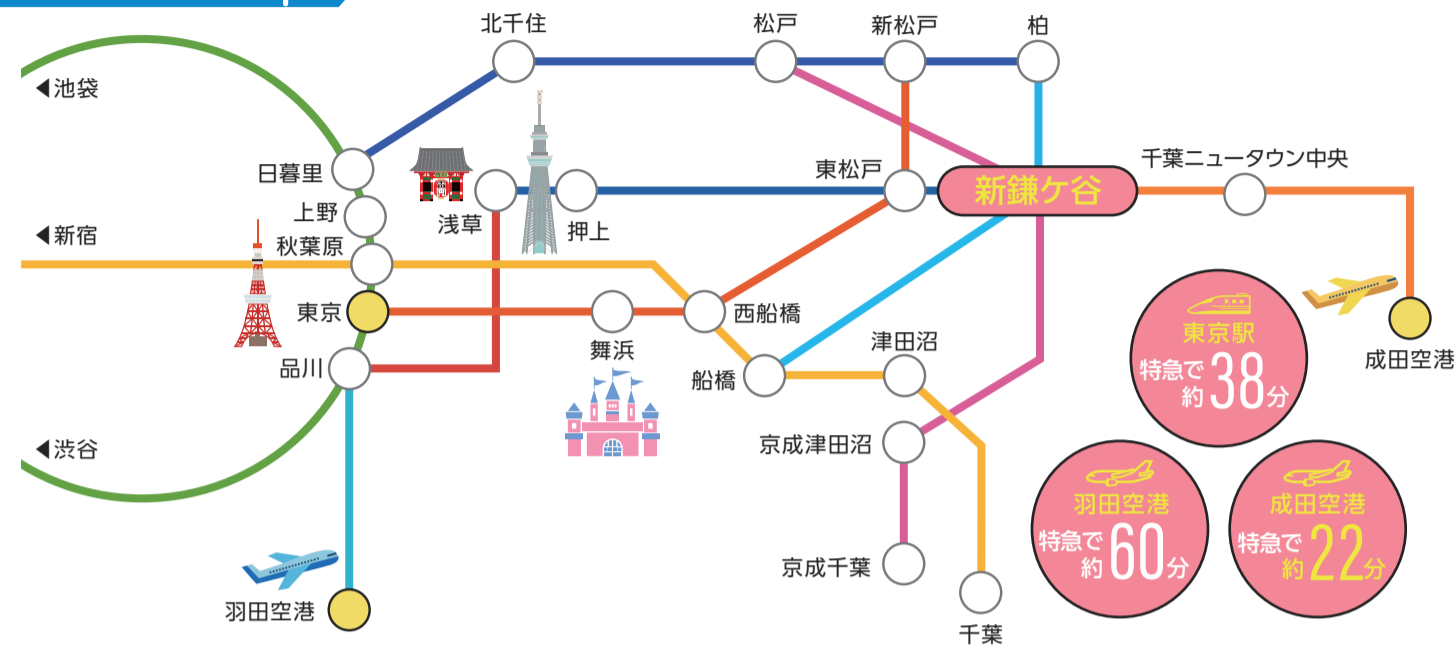


Route map



Access



🚗 お車でお越しの場合

京葉道路/原木より12km

- 正面ロータリーには駐車せず、敷地内駐車場をご利用ください。尚、当院をご利用の方(受診・健診・予防接種・入退院当日・当院指示の来院)のみ駐車料金が無料となりますので、駐車券を忘れずにお持ちください。
- 正面ロータリー、救急入り口付近は駐車禁止エリアとなっておりますのでご注意ください。

🚲 自転車・オートバイでお越しの場合

- 正面ロータリーに隣接する駐輪場をご利用ください。

🚆 電車でお越しの場合

新京成線・北総鉄道・成田スカイアクセス線・東武アーバンパークライン
「新鎌ヶ谷駅」北口方面から徒歩5分

Parking

ご入院される患者さん及びご家族へ
駐車場のご利用について

駐車場利用料金

入庫後60分以内	無料
入庫後60分以上	30分毎に100円加算

※駐車券紛失の際は短時間の駐車であっても一律3000円の駐車料金を頂きます。

- 入院期間中の自家用車での駐車場利用はお断りさせていただきます。
- 入院・退院日および病院側の指示による来院の場合は無料になります。
 - ①駐車券を病棟スタッフに提示していただき、確認印を押してもらってください。
 - ②1階の総合受付にて確認印が押されていることを確認したのちに無料処理の対応となります。
- 上記に該当しない方の駐車料金はすべて有料です。
- 駐車場内の利用者同士のトラブル、事故、盗難は当院では責任を負いません。

医療法人 徳洲会
鎌ヶ谷総合病院

〒273-0121
 千葉県鎌ヶ谷市初富929-6

☎ **047-498-8111** (代)

かまそう

🔍 検索

<https://www.kamagaya-hp.jp/>



2024.10.2000

より良い入院生活を送るために



Guidance for hospitalization

入院のご案内

入院生活を快く過ごしていただくために、
 必ずお読みください

医療法人 徳洲会
鎌ヶ谷総合病院

KAMAGAYA GENERAL HOSPITAL

生命を安心して預けられる病院
健康と生活を守る病院



患者さんの権利

1. すべての患者さんは、平等に医療を受けることができます。
2. 患者さんは、医師や病院あるいは保健サービス施設を自由に選択し変更することができます。
3. 患者さんは、自分自身の治療法を承諾あるいは拒否することができます。
4. 患者さんは、医学の研究・教育の被験者・教材となることを拒絶することができます。
5. 患者さんは、自分の診療録（カルテ）に記載された情報を開示され、自分の健康状態について十分な情報を得ることができます。
6. 患者さんの個人情報の秘密は守られます。
(P.17「個人情報の取扱いについて」をご覧ください。)
7. 患者さんは、十分な情報・知識を踏まえて自分の健康や保健サービスに関する選択がおこなえるため、保健教育を受けることができます。

入院前に

入院決定～入院当日まで

入院中の生活～退院手続きまで

入院費について

患者相談

その他

Contents

入院前に

- 01. 患者さんとご家族に守っていただく事項 04
- 02. 入院から退院までの手続きの流れ 05

入院決定～入院当日まで

- 03. 入院当日の持ち物のご案内
入院の事務手続きに必要なもの 06. 07
入院中に必要な持ち物 06. 07

入院中の生活～退院手続きまで

- 04. 入院中の生活～退院手続きまで
 - 1. 病棟の診療体制・看護体制
 - 2. 入院中の注意事項
 - 3. 他病院の受診について
 - 4. 食事について
 - 5. お薬に関するお願い
 - 6. 電話・パソコンの使用
 - 7. 入浴について
 - 8. テレビについて
 - 9. 一日のスケジュール
 - 10. 外出・外泊について
 - 11. お見舞い・面会について
 - 12. 病室について
 - 13. 災害等緊急時について
 - 14. 退院手続きについて
患者さんの安全のために 08. 09. 10. 11

入院費について

- 05. 入院費の請求とお支払いについて
有料個室のご案内 12. 13
限度額適用認定証のご案内 12. 13
- 06. 診断書や証明書について 14

患者相談

- 07. 心配ごとや悩みごとのご相談について
 - 1. 患者相談窓口について
 - 2. 入退院支援について
 - 3. 退院患者さんの在宅療養について
 - 4. セカンドオピニオンについて 14. 15

その他

- 08. 包括同意について 16
- 09. 個人情報の取扱いについて 17
- 10. フロアのご案内 18

Contents
01

患者さんにご家族に守っていただく事項

患者さん、ご家族との信頼関係を構築し、
最良の医療を提供するためにも、以下の事項をご理解ください。

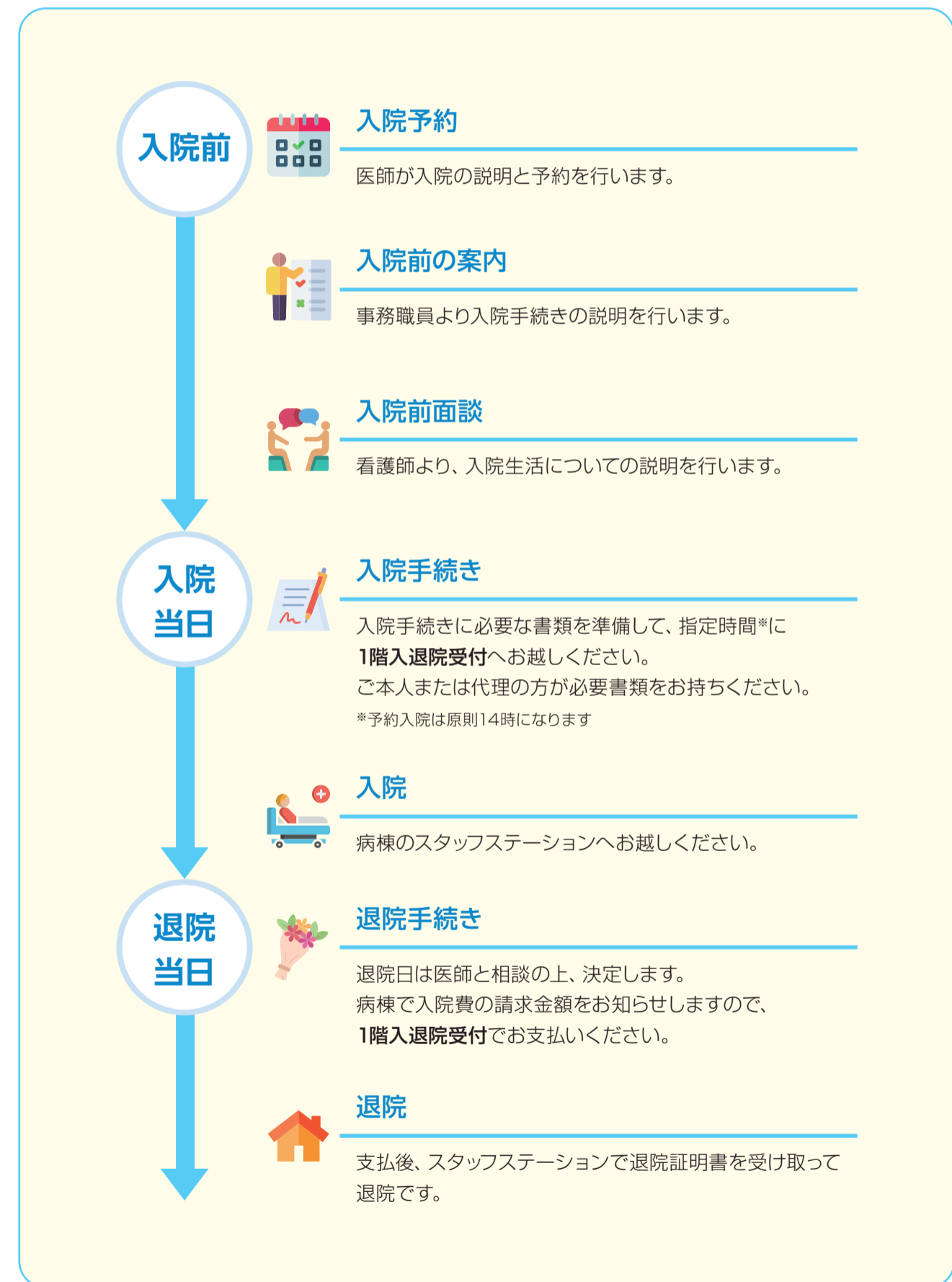
- 1 診療行為は患者さんの病気の治療、あるいは病気の進行をくい止めるために行われますが、多少なりとも危険を伴います。治療を受けるかどうかは説明を聞かれた上で、患者さんご本人が最終判断をしてください。また、治療が病気になられる前の状態への回復を約束するものではないことをご承知ください。
- 2 診断、検査、治療などでわからないことは主治医、看護師へお尋ねください。そして理解し、合意の上で受けてください。理解・合意できない場合はその旨をお伝えください。
- 3 病状や治療方針などの説明を受ける際は、聞き間違いや誤解を防ぐため、できれば患者さんお一人よりは、ご家族と一緒に聞きましょう。また、ご家族が別々の時間に来院し、それぞれが説明を求めることは極力控えてください。
- 4 診療は、救命医療が最優先されます。しかしながら、救命医療に関する患者さん自身の意思表示が明確かつ有効な場合は、その意思を尊重します。患者さんご本人の意思が不明な時は、ご家族の希望をお聞きします。
また、宗教的信条、ドナーカード、リビングウィル、人工呼吸器の使用の可否、輸血に関する希望など、事前に意思表示がある場合は明確に表示してください。
- 5 身体的暴力や暴言、あるいはハラスメントやストーカー行為を行った場合は、診療を中止し、退院をしていただく場合があります。また必要に応じて警察へ通報します。
- 6 飲酒等により、院内の秩序を乱す行為があった場合は、診療を中止し、退院をしていただく場合があります。
- 7 医師、看護師などへの過剰な要求は、診療機能への重大な影響から一切応じられません。場合によっては診療を中止し、退院をしていただく場合があります。
- 8 病院敷地内は全面禁煙となっております。病院敷地内での喫煙があった場合には診療を中止し、退院をしていただく場合があります。
- 9 医療費の請求を受けた時は、速やかにお支払いください。
- 10 入院期間中、長期間の駐車はご家族も含め、原則お断りしています。
- 11 当院の方針により、お心付けは一切ご辞退申し上げますのでご協力をお願いします。
- 12 患者さんや職員のプライバシーおよび病院内における個人情報の保護のため、診察室など病院内の敷地内にて無断での撮影や録音行為、SNSなどへの投稿は一切禁止します。
- 13 多額の現金、貴重品、高額な品物および危険物の持ち込みはご遠慮ください。

お気づきの点やご不明な点がございましたら遠慮なく医師、看護師などへご相談ください。



Contents
02

入院から退院までの手続きの流れ



入院前に

入院決定から入院当日まで

入院中の生活から退院手続きまで

入院費について

患者相談

その他

Contents
03

入院当日の持ち物のご案内

入院の事務手続きに必要なもの



診察券



入院申込書 兼 誓約書



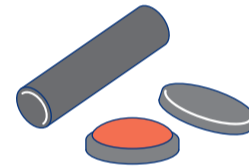
マイナンバーカード・
各種医療証(原本)



介護保険証



入院予約票



印鑑



在留カード
(日本国籍以外の方)

ご不明なものがございましたら、
お気軽にご相談ください。



持ち込みが禁止されているもの

- はさみ・カッター・ナイフ・カミソリ・爪切りなどの鋭利なもの
- ライター・バッテリー・カイロなど発火が予想されるもの
- タバコ・電子タバコ
- アルコール・ノンアルコール飲料
- 多額の現金・貴金属類
- 生花・鉢植えなど
- 香水・芳香剤



入院中に保険証や医療券が変更になったり、有効期限が切れた場合には速やかに1階入退院受付にご提示ください。

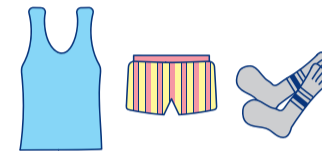
入院中に必要な持ち物 持ち物には必ず名前の記入をお願いしております。



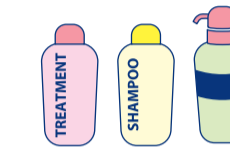
下記チェックリストを活用し、よく確認しましょう。

寝衣・タオルなどについてはご希望に応じ、貸し出しをしております(有料)。ご希望の方は別途提携業者発行の申請書兼契約書をご記入ください。

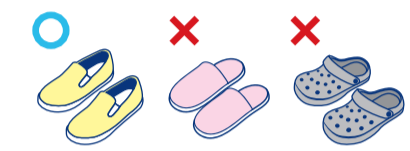
用意するもの



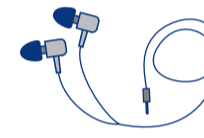
下着類
(肌着・パンツなど)



入浴関係物品
(シャンプー・リンス・ボディソープ)



くつ
(スリッパ・サンダル・クロックスは禁止)



テレビ用のイヤホン

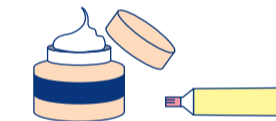


使用中の薬とお薬手帳

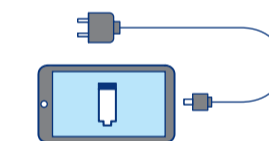


洗面用具
(入院セット利用の方は不要)

必要な方はご用意ください



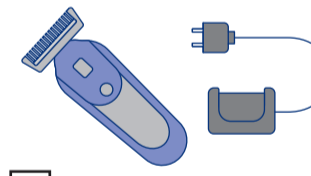
皮膚の保湿剤
(顔・身体用クリーム、リップクリームなど)



携帯電話・
コンセント型の充電器



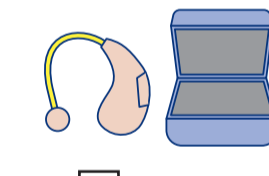
入れ歯・入れ歯ケース
(名前を記載する)



電気シェーバー・
充電器



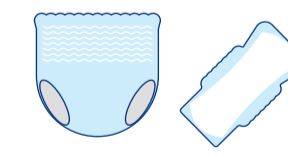
眼鏡・眼鏡ケース・
コンタクト・ケア用品



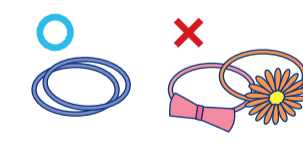
補聴器・
補聴器ケース



ペースメーカー手帳



おむつ・リハビリパンツ・
尿取りパッド・おしりふきなど



長髪の方はヘアゴム
(飾りやラメのないもの)



つけ爪(ジェルネイル)は診療等の妨げになりますので、必ずはずしてください。



入院前

入院決定・入院当日まで

入院中の生活・退院手続きまで

入院費について

患者相談

その他

Contents
04

入院中の生活～退院手続きまで 01

入院後に受けられる検査や治療について、**入院診療計画書**や**クリニカルパス**などを用いてご説明します。検査や治療の内容、看護の内容などについてご不明の点やご質問がありましたら、遠慮なく主治医または看護師にお申し出ください。

1. 病棟の診療体制・看護体制

- 1 診療体制**
 - ① 医師は診療科別に分かれて主治医を決めています。
 - ② 夜間及び休日は原則として当直医が診療にあたります。
- 2 看護体制**
 - ① 当院は健康保険法に基づく看護体制をとっています。
 - ② 看護師の勤務体制は2交代になっています。
 - ③ 付き添いは必要ありません。

2. 入院中の注意事項

- 入院中は医師または病院職員の指示に従ってください。
- 貴重品は必ずセーフティボックスに入れてください。
- 盗難・紛失・破損に関しましては、一切の責任を負いかねます。自己責任の下、鍵の管理を含め厳重にご注意ください。
- 故意に院内の備品を破損した場合は、相当額の代償を請求させていただきます。

3. 他病院の受診について

- 保険診療の制度では、**入院中に他の医療機関を受診することや薬の処方を受けることは原則できません。**やむを得ず入院中に他医受診をされる際は、必ず主治医・看護師へご相談ください。

4. 食事について

- 当院では食事の持ち込みに関して、感染対策や療養上・衛生上の観点から原則禁止とさせていただきます。
- 入院中の食事は主治医の指示により提供いたします。
- **食物アレルギーや食事制限をお持ちの方は入院時にお申し出ください。**
- 食事に関してのご相談は入院病棟の職員へお申し出ください。

5. お薬に関するお願い

- 入院中の治療(点滴や処方される内服など)との相互作用等为了避免するため、実物と情報(お薬手帳)を確認させていただきますのでお持ちください。
- 使っていないお薬や以前のお薬とは区別し、現在使用中のお薬のみお持ちください。
- サプリメントや健康食品も、常用しているものはお知らせください。
- 医師の指示で入院後も持参されたお薬を継続して服用する場合があります。

6. 電話・パソコンの使用

- 外部電話の取り次ぎは、原則として行っておりません。
- 携帯電話は各病棟の食堂・個室で使用できます。大部屋ではマナーモードとし病室内での使用はおやめください。
- パソコンのご利用時には、操作音など他の方の迷惑にならないようご注意ください。管理については個人責任です。紛失や盗難が発生した場合も病院では責任を負いかねます。

7. 入浴について

- 入浴、シャワーは医師の許可が必要です。
- ご利用の方は、各病棟のシャワー・浴槽をご利用ください。

8. テレビについて

- 病室備え付けのテレビは有料です。テレビカードは1枚1,000円で約15時間視聴できます。
- 大部屋でのテレビ視聴はイヤホンをご利用ください。
- テレビカードの残数は1階入退院受付近くの精算機で払い戻しができます。

9. 一日のスケジュール



1 起床と消灯

- ① 起床: 6時
 - ② 消灯: 21時
 - ③ 各個人のベッドランプの消灯: 22時
- ※起床時間前及び消灯時間後は点灯、談話、読書、テレビ等をご遠慮ください。

2 食事

- ① 朝食: 8時頃 昼食: 12時頃 夕食: 18時以降
- ② 食事は療養の一環でもあります。病院の食事をお召し上がりください。(食事の持ち込みは原則ご遠慮ください)

3 入浴

- ① 入浴は病状によりできない場合があります。
- ② 利用方法: 病棟により利用方法が異なりますので入院後にご説明します。

4 くすり

- ① 入院前に服用している薬がありましたら、必ず入院時にご持参の上、主治医・看護師・薬剤師にお知らせください。
- ② 医師、看護師、薬剤師がお渡しした薬以外は、服用・使用しないでください。

5 検査等

- ① 診断及び治療方針を決めるため、必要な諸検査を行いますのでご協力ください。
- ② 検査の説明は前日に行います。
- ③ 病棟以外で検査や診療を行う場合があります。行先は看護師がご説明します。
- ④ 病棟を離れる場合には必ず看護師にお知らせください。

Contents
04

入院中の生活～退院手続きまで 02

10. 外出・外泊について

- 入院中に外出・外泊を希望される方は、担当医師の許可が必要です。担当医師、看護師との相談のもと**外出・外泊許可願書**を記入・提出していただきます。無断で外出・外泊された場合は、入院を継続することが難しくなる場合があります。
- 病衣で院外に出ないようお願いします。

11. お見舞い・面会について

面会時間 全日共通 15:00～19:00

ご面会の方は、必ず入院病棟のスタッフステーションに立ち寄り、面会用紙への記入と面会者票の使用をお願いします。

- 患者さまの安静と診療の妨げにならないよう、時間は厳守してください。
- 患者さまの状態により面会をお断りする場合があります。
- **病室内での飲食や、酒気を帯びた方、小学生以下のお子様の面会は禁止とします。**

12. 病室について

- 救急を受け入れるにあたり、病室・病棟の移動をお願いする場合がありますので、ご理解とご協力をお願いいたします。
- 個室希望の方でも、場合によっては個室の準備ができない場合があります。
- 大部屋が満床の場合、有料個室をご案内することもあります。

13. 災害等緊急時について

- **火災時の注意**
- ① ご入院中の階が火災の時は職員等の指示に従って避難してください。
 - ・避難する時はタオル等で口および鼻を覆ってください。
 - ・動けない方には、職員等の救護班が対応します。
 - ・避難する時、荷物は絶対にお持ちにならないでください。
 - ・避難する時はできる限り背を低くしてください。
- ② 下の階が火災の時は、ただちに職員等が一時避難所または屋外避難所へ避難誘導します。
- ③ 上の階が火災の時は落ち着いて職員等の指示に従ってください。

- **地震時の注意**

当院は耐震について十分考慮してありますので安全です。
地震が起こった場合には職員等の指示に従って冷静に行動してください。
*「非常口」および「非常階段」は各階にあります。



14. 退院手続きについて

- 医師から退院許可が出た際、速やかな日程調整のご協力をお願いします。

患者さんの安全のために

同じ病気の患者さんや、同姓同名の方の人まちがいを防ぐために

- 検査や処置の際、患者間違いを防ぐため自ら氏名と生年月日を名乗っていただくことにご協力ください。点滴ボトルや内服薬などにご自分の名前が書いてあるかどうか、できるだけ確認してください。
- 薬をお受け取りになりましたら、お名前・内容・服薬方法のご確認をお願いします。
- ご家族も患者識別リストバンド・点滴ボトルの氏名などをご確認ください。
- 輸血を受けるときは、ご自分の血液型・氏名をできるかぎり確認してください。輸血前後の体調不良など些細なことでも、遠慮なく医師や看護師にお申し出ください。

個人の尊厳と危険防止の兼ね合いについて

- 患者さんの状態によっては、入院中に転倒・転落・徘徊が生じることがあります。ご家族の同意を得たうえで行動制限（抑制・拘束）を実施することもあります。最小限にとどめています。多少のリスクがあっても個人の尊厳の方が重要と考えています。
- 不安な点がありましたら病棟の看護師長にご相談ください。希望によってはご家族の付き添いも検討させていただきます。

院内感染防止について

- 医療従事者は院内の「院内感染対策マニュアル」に従って医療行為をしておりますが、病院内にはいろいろな病原菌を持った患者さんが入院しているため、院内感染は完全に防げるわけではありません。
- 感染症の疑われる症状（発熱・咳・下痢など）がある方は面会をご遠慮ください。
- 重症患者さんや抵抗力が低下している患者さんは感染を受けやすい状態になっていますので、病室によっては手の消毒や予防着・マスクの着用など、ご家族にもご協力をお願いすることがあります。方法は看護師がご説明します。
- 乳児同伴での面会（赤ちゃんを連れてくること）は原則として控えてください。
- 感染症の流行時期の面会は、控えさせていただく場合がございます。

転倒転落防止対策へのお願い

入院生活をする病院の環境は、自宅と異なります。生活環境の変化に伴う戸惑いや、病気による体力や運動機能の低下が思わぬ場所での**転倒や転落**を引き起こすことがあります。

- **下記の場合には、特に注意が必要となります。**

- ① 自力でのトイレへの移動中
- ② 睡眠薬を飲んだ後、ふらつき感がある場合
- ③ 点滴などのチューブが、身体に入っているとき
- ④ 介助を遠慮してしまい、自力で動いたとき

- **高齢者の場合には、さらに注意が必要となります。**

療養環境を整備しながら、転倒・転落予防に最新の注意を払っておりますが、さらに安全性を高めるため、次の項目についてご注意、ご協力をお願いします。

- ① 転倒・転落経験のある方は、看護師へお知らせください。
- ② 歩行が不安定な方や足腰が弱っている方は、かかとのあるすべりにくいゴム製の運動靴をご使用ください。
- ③ ベッドや車いすなどの周辺に、補助器具（点滴台やオーバーテーブル）がある場合、寄りかからないようにしてください。

ご不明な点は、どのようなことでも
医師または看護師にご相談ください。



Contents
05

入院費の請求とお支払いについて

- 診療費は原則として、診療報酬点数表によって計算します。
- 個室料、文書料、その他の自費診療等は所定の料金をいただきます。
- 退院日の精算は、病棟で「退院のお知らせ」をお渡しいたしますので、**1階入退院受付**でお支払いください。
- 入院中の診療費は、翌月10日以降に請求書をお渡しいたしますので、受け取り後1週間以内に**1階入退院受付**でお支払いください。

請求日 翌月10日以降 **支払期日** 受け取り後1週間以内

支払受付時間 月～土曜日 9:30～16:00 / 日・祝祭日 9:30～12:00

*入院中に使用された病衣やタオル等のご費用は、患者さんが契約された業者から後日請求があります。
 *患者さん、ご家族のご都合によりお支払い時間が遅くなるようでしたら、あらかじめ**1階入退院受付**へご相談ください。
 *各種クレジットカードでのお支払いも可能となっております。
 *領収書は、確定申告や高額療養費の手続きなどで必要となります。再発行はしませんので大切に保管してください。

入院診療費の計算案内

(当院では平成22年12月からDPCによる計算方式開始)

当院は、厚生労働省指定により**DPC (包括払い) 対象病院**となっております。

DPC制度とは

「DPC方式」は「出来高払い方式」と異なり、入院患者さんの疾患ごとに厚生労働省で決められた1日当たりの入院費用を決め、そこに手術やリハビリなどを組み合わせて診療費を計算する新しい方式です。

DPC対象病院とは

当院は平成18年度より、厚生労働省のDPC準備病院として診療情報を厚生労働省に提供し、制度の検証に協力してまいりました。その結果、当院における入院医療費の計算方法が変更になりました。

薬 (投薬・注射)	包括部分 (DPC) 病名等により、一日あたりの入院費が定められています。	手術料・麻酔料	出来高部分
レントゲン料		リハビリテーション料	
検査料		食事療養費	
入院基本料		病名等により1日あたりの包括部分の入院費が決まります。この額に出来高部分の額を合算する計算方法です。	

有料個室のご案内

お部屋のご希望は、入院申込時にご相談ください。

- 当院では患者さんのご希望に合わせて有料個室をご利用することができます。
- 室料は1日ごとで、1泊2日の料金ではありません。深夜0時を越えた場合は2日分の料金となります。

病室		料金	消費税込/1日
個室	シャワー/トイレ/応接セット	11,000円	
特別室	バス/トイレ/キッチン/応接セット	22,000円	

*お部屋の種類を問わず、床頭台/液晶テレビ/テーブル/椅子またはソファ/洗面台を完備しております。

限度額適用認定証のご案内

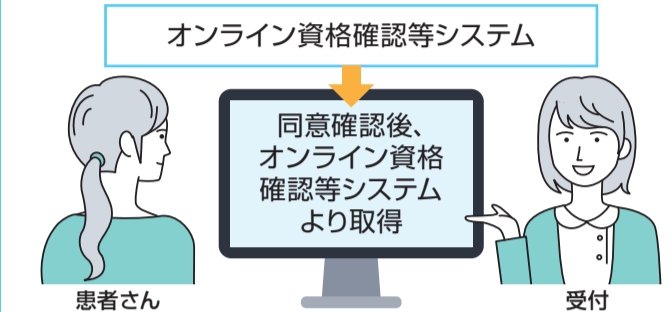
これまでは限度額適用認定証などは加入者(患者さん)が各保険者*へ必要となった際に申請を行わなければ、発行されませんでした。

オンライン資格確認システムを使用すると加入者(患者さん)から各保険者への申請がなくても、限度額情報を取得でき、加入者(患者さん)は限度額以上の医療費を窓口で支払う必要がなくなります。

*ただし、同意いただいた場合であっても、保険者の都合で資格確認できないときには、ご自身で手続きをお願いします。

*各保険者…【国民保険】→各市町村
 【社会保険】→健保組合、協会けんぽ各支部、共済組合など

オンライン資格確認方法



申請によらず、患者さん本人やご家族から情報閲覧の同意を得た場合、限度額適用認定証などの情報を取得できます。

その場で、限度額適用認定証の適用となります

70歳未満の患者さんの自己負担限度額

適用	所得区分	自己負担限度額
ア	標準報酬月額 83万円以上	252,600円 + (医療費 - 842,000円) × 1% [140,100円]
イ	標準報酬月額 53～79万円以上	167,400円 + (医療費 - 558,000円) × 1% [93,000円]
ウ	標準報酬月額 28～50万円以上	80,100円 + (医療費 - 267,000円) × 1% [44,400円]
エ	標準報酬月額 26万円以下	57,600円 [44,400円]
オ	低所得者 (住民税非課税等)	35,400円 [24,600円]

70歳以上の患者さんの自己負担限度額

負担割合	所得区分	自己負担限度額
3割	Ⅲ 年収 約1,160万円～ 課税所得690万円以上の方	252,600円+ (医療費-842,000円) × 1% [140,100円]
	Ⅱ 年収 約770～1,160万円 課税所得380万円以上の方	167,400円+ (医療費-558,000円) × 1% [93,000円]
	Ⅰ 年収 約370～770万円 課税所得145万円以上の方	80,100円+ (医療費-267,000円) × 1% [44,400円]
2割	一般	57,600円
	住民税非課税Ⅱ	24,600円
1割	住民税非課税Ⅰ	15,000円

*金額は1ヶ月あたりの限度額 ※ [] 内の金額は多数該当(直近1年間に3回以上高額療養費の支給を受け、4回目以降の限度額)
 ※医療費とは10割負担での金額になります。 ※上記の表には、食事負担金・その他の自費(個室・病衣等)は含まれません。

入院時食事療養日の標準負担額 (1食につき)

一般 (70歳未満)	70歳以上の高齢者	標準負担額 (1食当たり)	
一般 (限度額区分ア～エ)	現役並み	490円	
	一般		
非課税世帯 (限度額区分オ)	区分Ⅱ	90日目までの入院	230円
		91日目以降の入院 (調基該当者)	180円
該当なし	区分Ⅰ	110円	

ご不明な点がございましたら、**1階入退院受付**へご相談ください。



入院前

入院決定 / 入院当日まで

入院中の生活 / 退院手続きまで

入院費について

患者相談

その他

Contents
06

診断書や証明書について

- 入院中の診断書や証明書の書類につきましては、**1階総合受付**にお申し込みいただくことになります。なお、発行までには多少の日数がかかりますので余裕をもってお申し込みください。また、書類代は、受取時にお支払いとなります。

文書料一覧

文書名		金額(税込)
入院証明書・診断書		6,600円
身体障害者診断書・意見書		11,000円
診断書	病院所定の診断書	4,400円
	各所指定の診断書	6,600円

※診断書の内容により金額が異なります。詳細については1階総合受付にお尋ねください。

受付時間 全日 9:00~19:00

受付場所 1階総合受付にてお申し込みください。

Contents
07

心配ごとや悩みごとのご相談について

治療の不安や診療に関するご意見から、福祉制度の活用までさまざまな相談を承る**1階患者相談窓口**と、入退院に関わる説明や支援を行う**1階入退院支援室**が患者さんのサポート業務を行っております。

1. 患者相談窓口について

- 疾病に関する医学的な質問並びに生活上及び入院上の不安等、さまざまな相談
 - 医療安全管理者等による相談及び支援
- その他さまざまな相談を承っておりますので、お気軽にご利用ください。

患者相談窓口受付 月~金曜日 9:00~12:00 / 17:00~19:00
土曜日 9:00~12:00

2. 入退院支援について

入院支援 入退院受付での手続き後にご案内しております。担当看護師が入院生活や入院中の検査・治療について説明を行いますので、入退院受付での手続き後にご案内しております。

入院支援受付 月~土曜日 9:00~17:00(祝日除く)

退院支援 退院後の療養先や転院先、介護保険サービスに関する相談は、担当の医療ソーシャルワーカーと退院支援看護師が承っております。相談をご希望の方は入院中の病棟職員にお声がけください。

退院支援受付 月~金曜日 10:00~16:00
土曜日 9:00~12:00

上記時間内、電話相談対応もしております。

電話: 047-498-8111

(退院支援の電話相談は総合医療支援室につなぐようお伝えください)

3. 退院患者さんの在宅療養について

入院治療後に外来通院が困難な方を中心にご家庭で適切な療養を継続していただくために、さまざまな在宅サービスを行っております。

詳しくは、主治医または担当看護師、医療ソーシャルワーカーにご相談ください。

当院での在宅部門のご案内

訪問看護ステーション「シルバーケア」

医師の指示で、ご自宅に直接看護師がお伺いし、病状観察、カテーテルの管理、床ずれの処置や介護方法等の指導を行います。その他に、必要に応じて理学療法士や作業療法士がお伺いし、専門的なリハビリを行います。

鎌ヶ谷総合病院 居宅介護支援事業所

介護保険法により、ケアマネジャーが、介護の必要な方について、さまざまな相談をお受けします。

往診部

内科・歯科口腔外科では、患者様の状況に応じて、1~2回/月で定期的な訪問診療を行っております。

Care support 3

4. セカンドオピニオンについて

入院中または外来通院中に、「主治医だけでなく、他病院の医師の意見も聞いてみたい」というご希望がありましたら、遠慮なく主治医または看護師へお申し出ください。

診療情報提供書や電子データなど必要な資料をお渡します。(有料)

Contents
08

包括同意について

1 診療に関すること

当院では、書面で正式な説明同意をいただく診療項目と、口頭で説明、同意確認をさせていただく診療項目に分けて、対応させていただいております。以下の診療項目は、医師が立ち会う必要がないものが多く、患者さんへの心身のご負担も少ないものです。診療を円滑に進めるために、これらの診療項目については、あらかじめ同意をいただくことなく診療の一部として施行します。

疑問がある場合は、医師または看護師までお申し出ください。

個別に同意書を経ない通常の診療行為について

1 一般的項目

問診、視診、聴診、理学的診察、体温測定、身長測定、体重測定、リハビリテーション、血圧測定、脈拍測定、栄養指導、食事の決定

2 検査・モニター

①血液検査、尿検査、便検査 ②体液検査 ③迅速検査 ④その他

細菌学的検査、病理・細胞診検査、心電図、脈波、肺機能、超音波検査、脳波、呼吸検査、血液ガス、呼気ガス分析、筋電図、モニタリングMEP(脳神経外科、心臓血管外科の手術中)、眼科各種検査、皮内反応検査、アレルギー皮膚テスト、尿流量測定ウロフロメトリー、残尿測定、膀胱内BCG注入、蓄尿、単純レントゲン撮影、X線透視検査、造影剤を用いないCT/MRI検査、RI検査、心理検査、経費酸素飽和度測定、動脈圧測定、BISモニター、筋弛緩モニター等のモニタリング

3 処置

痰などの吸引、鼻管カテーテル、膀胱留置カテーテル、導尿、齲歯、歯周病・義歯の検査と治療、口腔ケア、トリガーポイント疼痛治療、フットケア、鼻出血止血処置、経管栄養、関節処置神経ブロック、ギプス装着・取り外し、湿布処置、消炎処置、眼科・耳鼻咽喉科各種処置、2回目以降の輸血(おむね1ヶ月経過した場合には同意書を再度取得)

4 投薬・投与

通常の投薬(内服・外用・点眼・点鼻)、酸素投与、ネーザハイフロー、注射(静注・筋肉・皮下)、末梢静脈内留置針挿入(点滴ラインの確保)、持続皮下留置針挿入、局所麻酔、血糖測定

※上記の診療行為は一定以上の経験を有する者によって行われますが、それでも時に出血などの合併症を伴うことがあります。このような場合、合併症の治療は通常の保険診療として行われます。あらかじめ、ご理解いただけますよう、お願いいたします。

2 教育に関すること

当院は教育病院であり、診療において研修医、外国人修練医、診療看護師、特定行為研修中の看護師、実習生などが参加することがあります。ご理解とご協力をお願いいたします。

Contents
09

個人情報の取扱いについて

『医療サービスを安心してお受けいただくために』

個人情報保護方針は、患者さんが安心して医療サービスをご利用いただくための、当院における個人情報取扱いに関する宣言です。内容に同意された上で医療サービスをお受けいただけますようお願いいたします。

【『医療サービスを安心してお受けいただくために』個人情報の取扱いについて】をお読みいただき、診療申込書(様式3)に記入をされたことにより、当院の個人情報の取扱いに同意された事とさせていただきます。

個人情報保護方針

- 医療サービス提供に必要な範囲において皆様の個人情報を収集し、同意のもと利用・提供を行ってまいります。
- 患者さんからご提供いただきました個人情報は、紛失、破壊、改ざん及び漏えいが起こらないよう適切な管理を徹底してまいります。
- 個人情報に関する法令及びその他の規範を遵守してまいります。
- 個人情報保護の仕組みを継続的に改善できるよう、取り組んでまいります。
- 患者さんのプライバシーを尊重し研鑽、研修に励んでまいります。

1. 【『医療サービスを安心してお受けいただくために』個人情報の取扱いについて】をお読みください。

資料はフロント(受付)にあります。

2. 医療安全措置(医療事故防止)の観点から

- ① 病室入り口に名札を掲げております。
- ② 医薬品(点滴)等に氏名等の個人情報を明記しております。
- ③ 診療、会計時等、患者さん呼び出しにおいて、番号で呼び出しをしております。

3. 電話問い合わせについて

- ① 患者さんの電話での問い合わせは行っておりません。
- ② 患者さん本人である場合は身分証明の照合をお願いしております。

4. 窓口にての問い合わせについて

- ① 窓口での病室の問い合わせについては特に申し出が無い限りご案内させていただきます。
- ② その他の個人情報の問い合わせについては行っておりません。
※個人情報の取扱いにつきまして、ご質問、ご不明な点等ございましたら職員までお申し出ください。

5. 患者さんの個人情報及び試料の利用目的及び取扱いについて

- ① 患者さんの個人情報を含む記録や試料(血液・尿・組織等)は、各種法令や倫理指針に基づいた院内規程を守った上で下記の目的に利用されます。
(1)当院での利用 (2)当院および徳洲会グループでの利用 (3)他の事業者等への情報提供
- ② 上記利用目的以外に患者さんの個人情報を利用する場合は、書面により患者さんの同意をいただくことといたします。
- ③ 患者さんの個人情報については次の権利があります。
(1)患者さんは所定の手続きのうえ、自己の個人情報の開示を請求することができます。
(2)患者さんは開示を受けた自己の個人情報の内容について、所定の手続きのうえ、訂正を請求することができます。
(3)患者さんは自己の個人情報が不適切な取扱いをされていると思われる場合は、所定の手続きのうえ、自己の個人情報の利用の停止・消去・提供の停止を請求することができます。
(4)患者さんは上記権利の決定等に関して不服がある場合は、当院に対し異議申し立てをすることができます。

ご質問やご相談は、以下の個人情報保護相談窓口をご利用ください

- 鎌ヶ谷総合病院 個人情報担当窓口

TEL:047-498-8111 FAX:047-498-5050 e-mail:iji@kamagaya-hp.jp

